たいくう。まとべん。 退屈な窓辺に吹き込む風に かま。しか 顔を顰めたのは照れくささの裏返し

曖昧に頷く手の平の今日 ヹがいてる自分は少し大げさで 「何か変わりそうな気がしているよ こるに呼びかける君のせいだね

くきりできる。 曇り空 のぞいた予感 で手を伸ばそう いつよりも力 強い 勇気で

でかり かげ とまだ遠くて それでも僕らは 光も影もまだ遠くて それでも僕らは でし の理由が知りたい はまた なまま でもない 輝きの彼方へ 全部 過去になる前に 見つけに行こう

すれ違い 近づきながら いつの日か 戸惑いも受け止めて いけたら

言葉のままじゃもどかしくて だから何度でも 常まり から 不器用に重ねてしまうね まるこ で 意味が生まれること ふたり気づき始めてる その理由も

言葉のままじゃもどかしくて 何度でも 不器用に重ねてしまうよ 声にならない切なさごと この想い、 対に届け 光も影もまだ遠くてそれでも僕らは やせしさの理由が知りたい では、なままえ。 今は誰の名前でもない、輝きの彼方へ せんぶかことになる前に見つけに行こう